

財務状況を学園教職員の皆様へ

【2020（令和2）年度 決算編】



学校法人 **志學館学園**

学校法人志學館学園の財務状況【令和2年度決算】について

令和3年5月28日の理事会・評議員会において、学校法人志學館学園の令和2年度決算が承認されましたので、学園教職員の皆様へご報告いたします。

■事業活動収支計算書

単位：千円

	勘定科目	令和元年度	令和2年度	増減
経常収支	教育活動収入			
	学生生徒等納付金	2,420,988	2,487,316	66,328
	手数料	37,590	35,012	△ 2,578
	寄付金	18,423	6,477	△ 11,946
	経常費補助金	805,682	877,742	72,060
	付随事業収入	116,435	103,874	△ 12,561
	雑収入	131,217	98,520	△ 32,697
	収入計 ①	3,530,335	3,608,941	78,606
	教育活動支出			
	人件費	2,061,328	2,014,209	△ 47,119
	教育研究経費	974,434	1,064,208	89,774
	管理経費	234,936	208,539	△ 26,397
	徴収不能等	4,268	6,007	1,739
	支出計 ②	3,274,966	3,292,963	17,997
	教育活動収支差額 ①－②	255,369	315,978	60,609 A
	外収入			
	受取利息・配当金	4,411	6,448	2,037
	収益事業収入	5,813	5,958	145
	収入計 ③	10,224	12,406	2,182
外支出	借入金等利息	1,728	1,326	△ 402
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	支出計 ④	1,728	1,326	△ 402
	教育活動外収支差額 ③－④	8,496	11,080	2,584 B
	経常収支差額	263,865	327,058	63,193 A+B

特別収支	特別収入			
	資産売却差額	0	52,764	52,764
	現物寄付	2,523	3,250	727
	施設設備補助金	7,448	14,581	7,133
	過年度修正額	505	0	△ 505
	収入計 ⑤	10,476	70,595	60,119
	特別支出			
	資産処分差額	78,919	83,668	4,749
	過年度修正額	4,298	28,358	24,060
	支出計 ⑥	83,217	112,026	28,809
	特別収支差額 ⑤－⑥	△ 72,741	△ 41,431	31,310 C

基本金組入前当年度収支差額	191,124	285,627	94,503 A+B+C
---------------	---------	---------	--------------

経常収入 計	3,540,559	3,621,347	80,788 ①+③
事業活動収入 計	3,551,035	3,691,942	140,907 ①+③+⑤

	令和元年度	令和2年度	増減
財務分析			
経常収支差額比率	7.5%	9.0%	1.5%
事業活動収支差額比率	5.4%	7.7%	2.3%
人件費比率	58.2%	55.6%	-2.6%
教育研究経費比率	27.5%	29.4%	1.9%
管理経費比率	6.6%	5.8%	-0.8%

事業活動収支計算書

当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容と均衡状態を明らかにし、経営状況を表します。資金の増減を伴わない取引（引当金、減価償却費 等）は計上されますが、資本的支出（固定資産取得等）に充てる額は除いて計上します。学校法人の収支バランスを捉えるものです。

《概要説明》 <以下、計数の増減は前年度対比で説明>

【教育活動収支差額】

〔収入〕 学生生徒等納付金は、短大の学生数が 61 名減少の一方で大学の学生数が 120 名増加等により +66 百万円、寄付金は、大学 40 周年記念事業終了により△11 百万円となりました。経常費補助金は、特別補助（ブランディング事業、授業料減免事業等支援事業）及び一般補助（大学の定員超過）が減額となり 95 百万円減少しましたが、令和 2 年度に始まった高等教育の修学支援新制度である授業料等減免費補助金 204 百万円（大学 132 百万円、短大 71 百万円）等により +72 百万円となりました。付随事業収入は、補助活動事業収入（寮費）の減少等により△12 百万円、雑収入は、退職金財団交付金の減少等により△32 百万円となりました。

この結果、教育活動収入の合計は +78 百万円で 3,608 百万円となりました。

〔支出〕 人件費は、退職金及び退職給与引当金繰入額の減少等により△47 百万円、教育研究経費は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う経費の未執行がありましたが、修学支援制度開始に伴う奨学金 204 百万円増などにより +89 百万円、管理経費は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う経費の未執行等により△26 百万円となりました。

この結果、教育活動支出の合計は +17 百万円で 3,292 百万円となりました。

これらの結果、教育活動収支差額は +60 百万円で 315 百万円となりました。

【教育活動外収支差額】

教育活動外収支差額は、有価証券の利息配当金増等により +2 百万円で 11 百万円となりました。

【経常収支差額】

経常収支差額は、+63 百万円で 327 百万円となり、この結果、経常収支差額比率は 9.0% (+1.5pt) で、定量的経営判断指標は前年度に引き続き A 3 となりました。

※経常収支差額は、 臨時的な特別収支を除く経常的な収支バランスを表すものです。

経常収支差額比率は、学校経営における利益の判断基準となっています。

【特別収支差額】

特別収支差額は、有価証券売却差額等により、+31 百万円となりました。

【基本金組入前当年度収支差額】

事業活動収入は、+140 百万円で 3,691 百万円、事業活動支出は、+46 百万円で 3,406 百万円、基本金組入前当年度収支差額は +94 百万円で 285 百万円となりました。

【財務比率】

事業活動収支の財務比率は、経常収支差額比率 9.0% (+1.5pt)、事業活動収支差額比率 7.7% (+2.3pt)、人件費比率 55.6% (△2.6pt)、教育研究経費比率 29.4% (+1.9pt)、管理経費比率 5.8% (△0.8pt) となりました。

■資金収支計算書

単位：千円

勘定科目	令和元年度	令和2年度	増減
学生生徒等納付金収入	2,420,988	2,487,316	66,328
手数料収入	37,590	35,012	△ 2,578
寄付金収入	18,423	6,478	△ 11,945
補助金収入	813,130	892,323	79,193
資産売却収入	0	1,346,661	1,346,661
付随事業・収益事業収入	121,089	108,368	△ 12,721
受取利息・配当金収入	4,410	6,448	2,038
雑収入	131,217	98,520	△ 32,697
借入金等収入	0	78,100	78,100
前受金収入	375,165	418,302	43,137
その他の収入	138,089	161,123	23,034
資金収入調整勘定	△ 552,330	△ 509,031	43,299
前年度繰越支払資金	1,758,598	1,765,940	7,342
収入の部 合計	5,266,369	6,895,560	1,629,191
人件費支出	2,093,587	2,018,841	△ 74,746
教育研究経費支出	640,663	757,560	116,897
管理経費支出	186,859	152,407	△ 34,452
借入金等利息支出	1,728	1,326	△ 402
借入金等返済支出	70,000	148,100	78,100
施設関係支出	75,411	200,625	125,214
設備関係支出	116,528	101,740	△ 14,788
資産運用支出	294,553	1,098,911	804,358
その他の支出	238,876	234,940	△ 3,936
資金支出調整勘定	△ 217,776	△ 167,077	50,699
翌年度繰越支払資金	1,765,940	2,348,187	582,247
支出の部 合計	5,266,369	6,895,560	1,629,191

【教育活動資金収支差額】

勘定科目	令和元年度	令和2年度	増減
学生生徒等納付金収入	2,420,988	2,487,316	66,328
手数料収入	37,590	35,012	△ 2,578
寄付金収入	18,423	6,478	△ 11,945
経常費補助金収入	805,682	877,742	72,060
付随事業収入	115,276	102,410	△ 12,866
雑収入	131,217	98,520	△ 32,697
教育活動資金収入 合計	3,529,176	3,607,478	78,302
人件費支出	2,093,587	2,018,841	△ 74,746
教育研究経費支出	640,663	757,560	116,897
管理経費支出	182,626	152,407	△ 30,219
教育活動資金支出 合計	2,916,876	2,928,808	11,932
調整勘定等収支差額	△ 48,026	15,408	63,434
教育活動資金収支差額	564,274	694,078	129,804
教育活動資金収支差額比率	16.0%	19.2%	3.2%

資金収支計算書

当該会計年度（4月1日～3月31日）に行った諸活動に対する全ての収入と支出の内容を明らかにし、支払資金（現金預金等）の顛末を明らかにするものです。

資金収支計算書は、企業会計のキャッシュフロー計算書に近いもので、前年度から繰り越された支払資金を基に、当年度の収支の結果、翌年度に繰り越される支払資金が確定する計算体系になっています。

《概要説明》（事業活動収支と同じ科目は省略）

〔収入〕 資産売却収入は、株式相場の回復を受け、反復運用の売買により、+1,346 百万円となりました。借入金等収入は、大学 40 周年記念館建設の着手金として 78 百万円を短期で借入し、年度末に返済しました。前受金収入は、前期納付書一部前倒し発送等により +43 百万円、その他収入は、前期末未収入金及び預り金収入の増加等により +23 百万円となりました。

この結果、収入の部合計は+1,629 百万円で 6,895 百万円となりました。

〔支出〕 人件費支出は、退職金支出の減少等により△74 百万円、施設・設備関係支出は、大学 40 周年記念館及びカフェテリア増築の建設着工等により+110 百万円、資産運用支出は、有価証券の売買を反復運用したことにより+804 百万円、その他の支出は、前期末未払金支払支出の増加及び前払金支出の減少等により△3 百万円となりました。

これらの結果、翌年度繰越支払資金は+582 百万円で 2,348 百万円となりました。

志 學 館 学 園 ◆ 令和 2 年度 補助金一覧表 ◆

単位：千円

No	補助事業名称 / 設置校	大学	短大	高等部	中等部	かもめ	なでしこ	すみれ	保育園	合計
1	経常費補助金 (国)	157,346	122,068							279,414
2	授業料等減免費交付金(修学支援) (国)	132,875	71,509							204,384
3	私立学校情報機器整備費補助金 (遠隔授業活用推進事業) (国)	1,023	5,575							6,598
4	介護福祉士養成施設等遠隔授業 環境整備事業補助金 (県)		105							105
5	施設整備費補助金 (教育支援体制整備事業) (県)					499	392	359		1,250
6	私立学校感染症対策・学習保障等 事業補助金 (県)			999	498					1,497
7	学校保健特別対策事業費補助金 (県)			1,049	1,215					2,264
8	新型コロナウイルス感染症対策 休業等協力金 (県)	183	117							300
9	私立学校情報機器整備費補助金 (県)				6,163					6,163
10	理科教育設備整備費等補助金 (県)			261	204					465
11	運営費補助金 (県)			130,828	93,000	42,309	34,007	28,599		328,743
12	魅力ある私立学校づくり補助金 (県)			10,662	1,042	549	339	426		13,018
13	授業料軽減補助金 (県)			654						654
14	入学金軽減補助金 (県)			17						17
15	私立幼稚園特別支援教育費補助金 (県)						5,030	1,568		6,598
16	預かり保育補助金 (県)					1,918	1,916	1,960		5,794
17	地域医療介護総合確保基金事業 補助金 (県)		1,059							1,059
18	私立高等学校補助金 (市)			1,502						1,502
19	私立幼稚園等運営補助金 (市)					4,370	3,291	3,981		11,642
20	私立幼稚園障害児教育補助金 (市)					392				392
21	特別保育事業補助金(副食費) (市)					1,855	1,161	2,194		5,210
22	特別保育事業補助金(一時預かり) (市)					3,092	3,092	2,631	2,607	11,422
23	週休二日制実施補助金 (市)								1,757	1,757
24	療育支援児保育補助金 (市)								222	222
25	私立保育所等運営補助金 (市)								979	979
26	保育所等感染予防対策充実事業 補助金 (市)								500	500
27	結核定期健康診断事業補助金 (市)	199	137	38						374
合 計		291,626	200,570	146,010	102,122	54,984	49,228	41,718	6,065	892,323

※3～8は、新型コロナウイルス感染症対策関連の補助金

◎経常費補助金（No. 1）の一般補助においては、近年、定員未充足の学部・学科に対する増減率（補助金額に乗ずる割合）の厳格化により、補助金の減額幅が一段と大きくなっています。また、運営費補助金（No. 11）も、生徒・園児数の増減が大きく影響します。補助金収入増加の為には、一人でも多くの学生・生徒・園児を獲得することが、当面の重要課題です。

■貸借対照表

単位：千円

勘定科目	令和元年度	令和2年度	増減
固定資産	14,200,286	14,031,145	△ 169,141
有形固定資産	13,901,140	13,744,505	△ 156,635
特定資産	227,754	227,756	2
退職給与引当特定資産	177,919	177,919	0
第3号基本金引当特定資産	49,835	49,835	0
その他の固定資産	71,392	58,884	△ 12,508
流動資産	2,310,797	2,678,422	367,625
資産の部合計	16,511,083	16,709,567	198,484

勘定科目	令和元年度	令和2年度	増減
固定負債	1,009,463	954,638	△ 54,825
長期借入金	125,000	100,000	△ 25,000
退職給与引当金	797,982	793,350	△ 4,632
その他固定負債	86,481	61,289	△ 25,192
流動負債	707,300	674,982	△ 32,318
短期借入金	70,000	25,000	△ 45,000
その他流動負債	637,300	649,982	12,682
負債の部合計	1,716,763	1,629,620	△ 87,143

勘定科目	令和元年度	令和2年度	増減
第1号基本金	18,190,885	18,282,739	91,854
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	49,835	49,835	0
第4号基本金	238,000	238,000	0
基本金の部合計	18,478,720	18,570,574	91,854

勘定科目	令和元年度	令和2年度	増減
翌年度繰越収支差額	△ 3,684,400	△ 3,490,627	193,773

勘定科目	令和元年度	令和2年度	増減
純資産の部合計	14,794,320	15,079,947	285,627

負債及び純資産の部合計	16,511,083	16,709,567	198,484
-------------	------------	------------	---------

貸借対照表

当該年度末（3月31日）時点での資産・負債・基本金の状況を表し、財政状況を明らかにします。

資金収支計算書と事業活動収支計算書が単年度の収支状況を表す一方、貸借対照表はこれまでの財政活動における積み重ね（累積）の結果を表します。

《概要説明》

固定資産は、大学40周年記念館とカフェテリア増築の建設着工及び旧体育館除却等により△169百万円、流動資産は、有価証券の売却や前受金の増加等により+367百万円となりました。この結果、資産の部合計は+198百万円で16,709百万円となりました。

負債の部合計は、借入金の返済や未払金の減少等により△87百万円で1,629百万円となりました。基本金は、今年度取得した施設設備の第1号基本金組入により+91百万円で18,570百万円となりました。

学園の財産状況については、純資産が+285百万円で15,079百万円となりました。

貸借対照表の財務比率に関しては、純資産構成比率90.2%（+0.6pt）、流動比率397.6%（+69.6pt）、前受金保有率646.3%（+28.9pt）、積立率44.3%（+5.1pt）となりました。

◆財務分析◆

【事業活動収支計算書関係比率】

分析項目	算 式	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	大学法人平均	評価
① 経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	10.3%	10.5%	10.1%	7.5%	9.0%	4.2%	高い方が良い
② 事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	※ 10.4%	1.1%	10.3%	5.4%	7.7%	4.7%	高い方が良い
③ 人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	56.8%	56.6%	56.4%	58.2%	55.6%	53.2%	低い方が良い
④ 教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	25.9%	26.0%	26.8%	27.5%	29.4%	33.5%	高い方が良い
⑤ 管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	6.8%	6.6%	6.5%	6.6%	5.8%	8.9%	低い方が良い
⑥ 補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	25.2%	24.3%	25.8%	22.9%	24.2%	12.2%	高い方が良い

○大学法人全国平均は、令和元年度最新DATA（医歯系法人を除く）である。

【貸借対照表関係比率】

分析項目	算 式	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	大学法人平均	評価
① 純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債＋純資産}}$	85.8%	86.7%	88.9%	89.6%	90.2%	87.8%	高い方が良い
② 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	175.1%	189.3%	281.7%	328.0%	397.6%	251.8%	高い方が良い
③ 前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	396.9%	427.6%	509.2%	617.4%	646.3%	348.8%	高い方が良い
④ 積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	29.4%	32.1%	35.6%	39.2%	44.3%	78.5%	高い方が良い

○大学法人全国平均は、令和元年度最新DATA（医歯系法人を除く）。

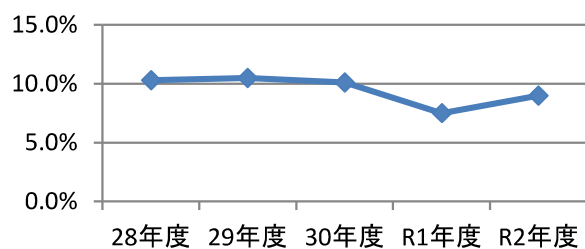
※純資産構成比率は、旧財務比率の自己資金構成比率である。

※前受金保有率は、経営判断指標に基づく修正前受金保有率＝運用資産÷前受金を適用

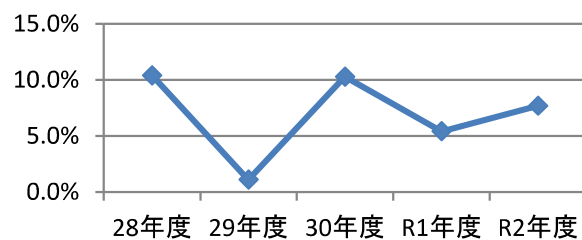
◇解説◇

経常収支差額比率	経常的な収支バランスを表すもので、黒字か赤字か、更に黒字幅が10%を超えるか否かにより、経営状態を判断する利益の判断基準である。
事業活動収支差額比率	事業活動収入に対する基本金組入前の当期収支差額が占める割合。この比率がプラスで大きいほど自己資金が充実し、財政面での将来的な余裕に繋がるものである。
純資産構成比率	自己資金の総資金に占める構成割合のことで、学校法人の資金の調達源泉を分析する上で、最も概括的で重要な指標である。この比率が高いほど財政的に安定しており、50%を割ると他人資金が自己資金を上回っていることを示す。
流動比率	流動負債に対する流動資産の割合。一年以内に償還又は支払わねばならない流動負債に対して、現金預金又は一年以内に現金化が可能な流動資産がどの程度用意されているかという学校法人の流動性即ち短期的な支払能力を判断する重要な指標である。
前受金保有率	翌年度の事業活動収入となるべき授業料や入学金等を当該年度に収受したものを前受金といい、その資金が翌年度繰越支払資金として当該年度末に保有されているか否かを判断する指標である。この比率が100%を割る場合は、前受金が先食いされているか、現金預金以外のものに運用されているかを示しており、学校法人の資金繰り状態を表す目安となるものである。
積立率	将来の施設設備の取替更新等に備え、保有しておくべき資産の保有状況を表す比率。 「運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券」 「要積立額＝減価償却累計額＋退職給与引当金＋2号基本金＋3号基本金」

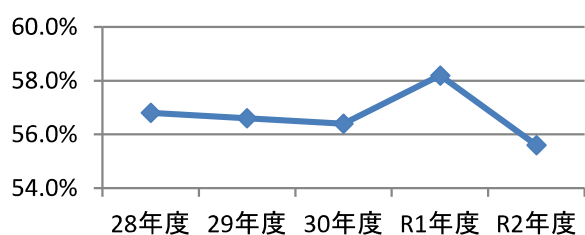
經常収支差額比率



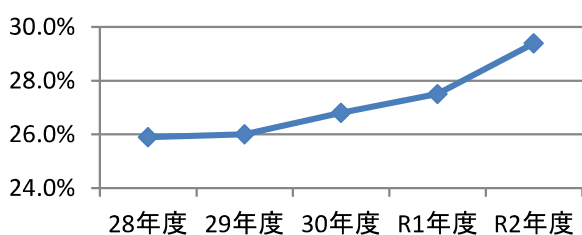
事業活動収支差額比率



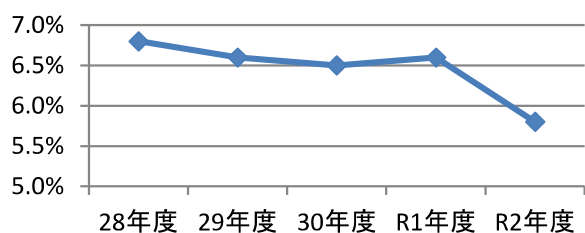
人件費比率



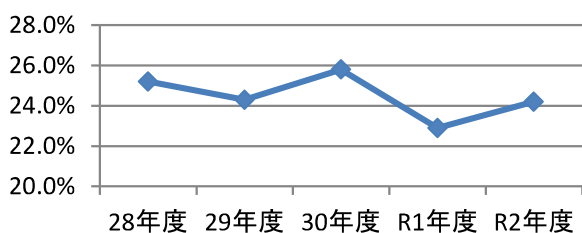
教育研究経費比率



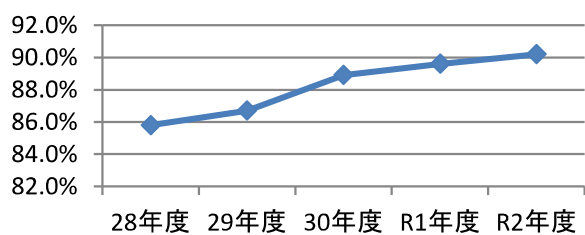
管理経費比率



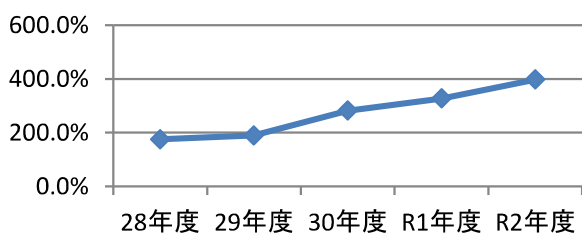
補助金比率



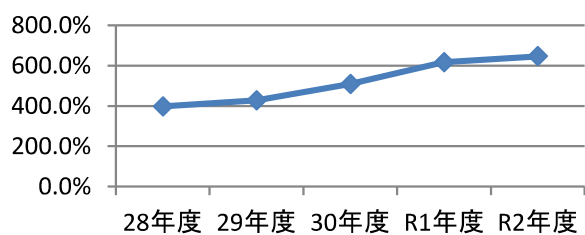
純資産構成比率



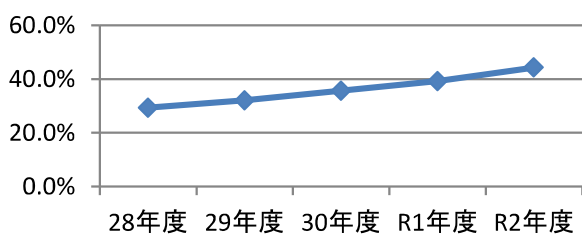
流動比率



前受金保有率



積立率



定量的な経営判断指標に基づく経営状態

「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」

令和2(2020)年度

志學館学園 経営判断指標判定表

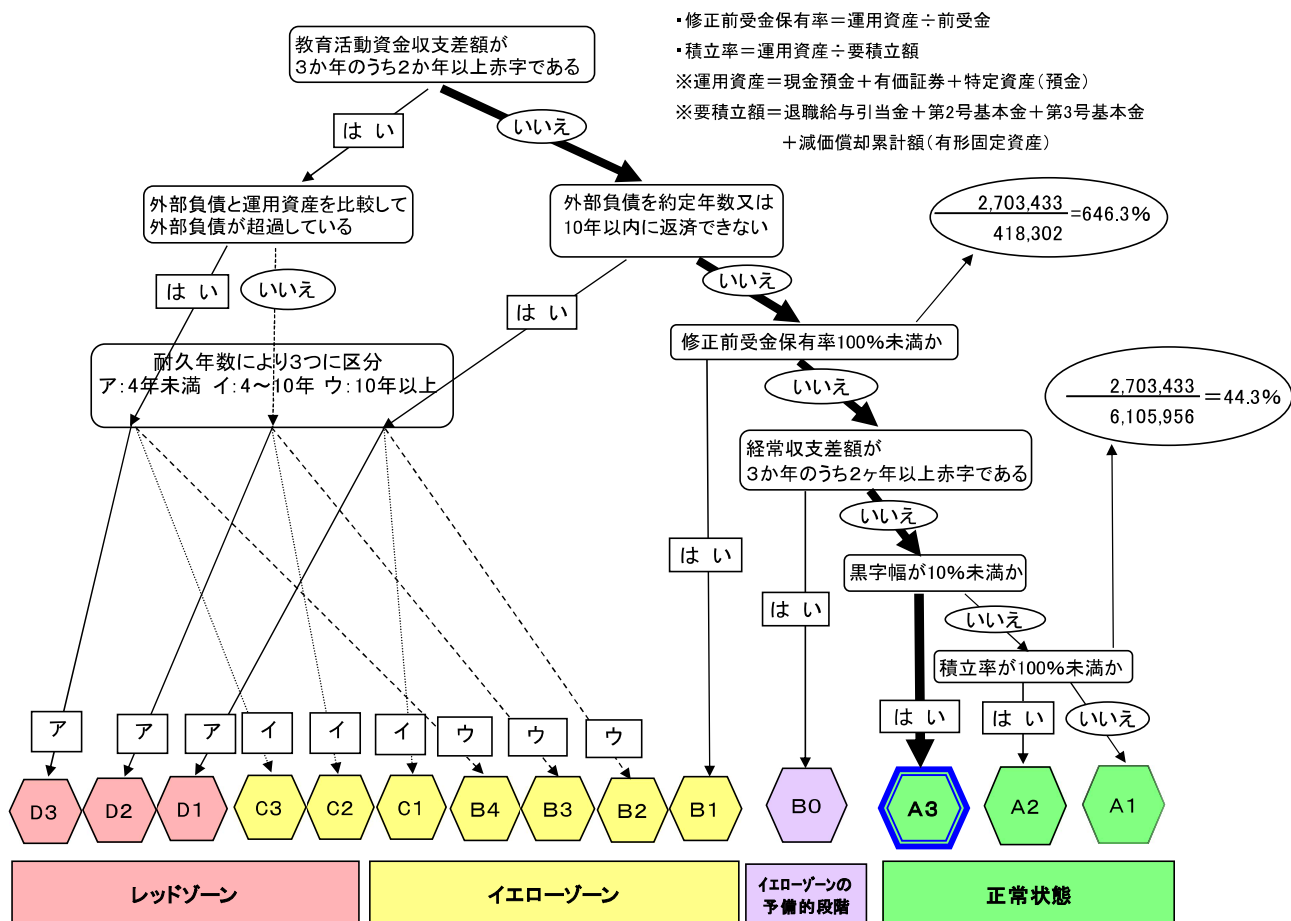
判定		A2	A2	A2	A3	A3
		(単位:千円)				
Ⅰ 教育活動資金 収支差額		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	教育活動資金収入(A)	3,742,944	3,818,003	3,610,945	3,529,176	3,607,478
	教育活動資金支出(B)	3,042,411	3,072,391	2,909,068	2,964,902	2,913,400
	C=A-B	700,533	745,612	701,877	564,274	694,078
	教育活動資金収支差額比率C/A	18.7%	19.5%	19.4%	16.0%	19.2%
判定		○	○	○	○	○
Ⅱ 運用資産と 外部負債の関係		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	運用資産(D)	1,716,544	1,764,000	2,014,277	2,316,172	2,703,433
	外部負債(E)	1,003,372	886,240	546,198	496,030	360,235
	F=D-E	713,172	877,760	1,468,079	1,820,142	2,343,198
	C>0且つF<0の時 F÷C(単位:年)	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***
Ⅲ 経常収支差額		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	経常収入(G)	3,757,690	3,828,304	3,622,410	3,540,559	3,621,347
	経常収支差額(H)	387,621	401,361	366,122	263,865	327,058
	経常収支差額比率(H/G)	10.3%	10.5%	10.1%	7.5%	9.0%
		○	○	○	○	○

注1) 定量的な経営判断指標は平成24年度に精緻化され、7区分から14区分へ変更になった。

注2) 新会計基準に基づき、平成27年度より下記の2点が変更となった。

【変更点】①(旧)教育研究活動CF ⇒ (新)教育活動資金収支差額

②帰属収支差額(資産売却差額、資産処分差額を除く) ⇒ 経常収支差額



◎財務状況についてのご質問等は、学園本部 経理課長までお問い合わせください。

【令和2年度 施設設備投資の施工事例 ※100万円以上】

■志學館大学

歩行者用通路整備工事（正門から本館までの通路舗装）



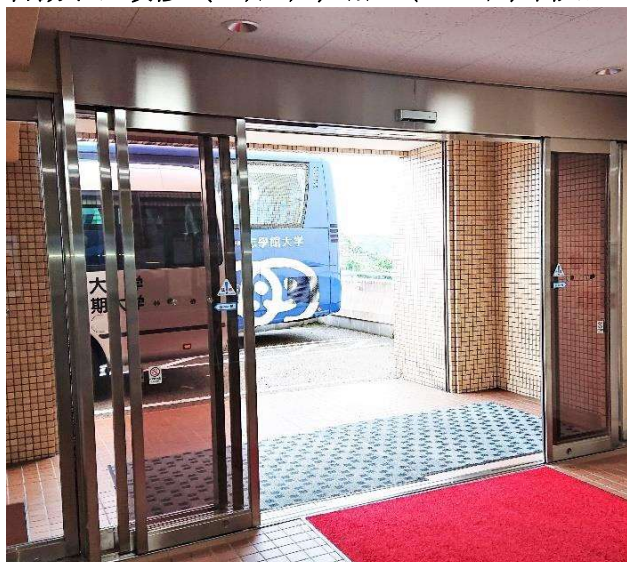
カフェテリア テーブル 48 台・椅子 164 脚 《新型コロナウイルス感染症対策》



心理棟改修工事（講義室を研究室3部屋へ改装）



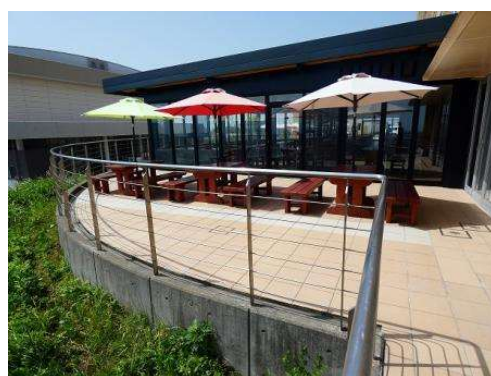
自動ドア改修（バリアフリー）※1F（ATMコーナー）出入口



キャンパスネットワーク機器更新（エッジスイッチ、コアスイッチ）



カフェテリア増築工事（令和3年1月着工～令和3年4月竣工） ※学園施設設備投資6か年計画



大学40周年記念館建設工事（令和3年1月着工～令和4年3月竣工予定） ※学園施設設備投資6か年計画

《令和3年7月19日進捗状況》



鹿児島女子短期大学

映像配信機器（本館 4 階・7 階）《新型コロナウイルス感染症対策》

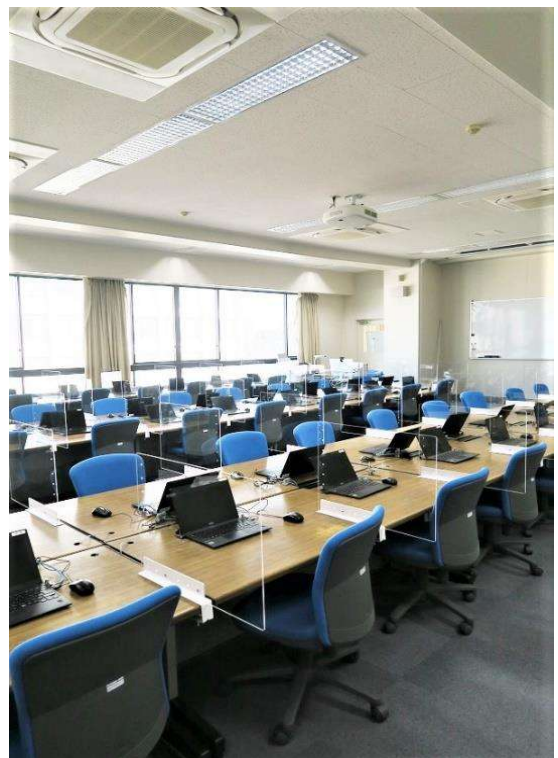


※文部科学省：私立学校情報機器整備費補助金(遠隔授業活用推進事業)

自動ドア（バリアフリー）※学生支援センター廊下



授業用 P C 61 台（南館 501）



■志學館 中・高等部

GIGA スクールタブレット 274 台（中等部）



※私立学校情報機器整備費補助金(GIGA スクール)

新館 1 階多目的トイレ改修（バリアフリー）



※魅力ある私立学校づくり事業費補助金

サーマルカメラ《新型コロナウイルス感染症対策》



※学校保健対策事業費補助金

■なでしこ幼稚園 雨除けビニールカーテン（保育室 2 階）

